

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 030	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 水稻主食用中生品種の選定について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 中生品種「さとじまん」は耐倒伏性に優れ、栽培しやすい特徴がある一方、高温耐性が弱いため品質は劣り食味の評価も高くない。また、奨励品種・産地品種銘柄に採用している県が他にないため、種子の安定供給の上ではリスクが高い。 水稻栽培は担い手への受託生産が進み、今後、中生品種の作付はますます重要になっていくことから、他県でも評価が高い「さとじまん」熟期の良食味米品種の選定を行っていただきたい。 平成29年度「さとじまん」栽培面積（水稻作付面積の約15% 種子換算による） 457ha 対象地域 県内全域	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 水稻奨励品種決定調査事業			
対応の内容等 平成23年度より、「さとじまん」の後継品種について、同熟期で良食味、高品質、高収量となる品種を検索・検討を重ねてまいりました。昨年の試験結果より、中生品種「てんこもり」が同熟期、良食味であったことから、今年度も継続して、特性調査試験を行っております。また、今年度は、普及指導部作物加工課の協力により、「てんこもり」の現地栽培試験ほを設定し、本県における栽培特性の調査を行っております。今後も引き続き、調査、情報の共有、協議・検討等ご協力をお願いします。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			